

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	メディカルコントロール協議会運営事業	所管	消防本部 救急課
			Tel 2929-9123

事業の目的 (何の為に 行うか)	救急救命士等が行う医行為(除細動、器具による気道確保、静脈路確保、薬剤投与)及び応急処置を医学的見地から保障する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市・入間市・狭山市・埼玉県南西部消防本部に所属する救急救命士 (新年度救急救命士国家試験合格者を含む)	対象とした数	130	人
		実際に 利用した数	124	人

活動の内容	(何を したか)	①協議会の開催;所沢市・入間市・狭山市・埼玉県南西部消防本部管内の医療機関の医師、関係機関の責任者及び消防機関の救急監督者が協議会をつくり、年2~3回会議を開催し、MCとしての見地から研修会等を企画する。 ②MC協議会主催による救急救命士等の再教育に係る研修会等を実施する。								
	活動実績	項目名	協議会の開催回数	2	項目名	救急救命士の再教育に係る研修会の回数	6	項目名		単位
			----- 単位 回			----- 単位 回				

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	279	279	7,794	23.0

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	救急救命士の再教育に係る研修会の参加人数	研修会に参加した救急救命士の延べ人数	130	124	95.4
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 * 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 [ ] 終了
		予算	現状どおり	増額	減額	終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100400	TEL	2929-9123
事業コード	100401		メディカルコントロール協議会運営事業			
開始年度	平成 14 年度		—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	なし						
	関連・類似事業	救急隊指導業務事業(救急隊)・事後事例研究会実施事業						
	総体計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	3 救急業務の高度化	小柱

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 13 位		実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○	
	コード	3261	コード		コード	
	事業開始の背景	救急救命士法が平成3年に施行されて以来、救命のために重要な医行為(除細動・気道確保・静脈路確保等)を医師の具体的指示を受けた救急救命士が行えることとなった。これらの医行為の質を如何に保障するかは当初からの懸案であった。平成14年10月埼玉県主導により地域MC協議会を発足させた。更に、平成15年4月、これら医行為の実施体制を更に前向きに見直すこととなり、これを契機に「救急救命士等が行う医行為の質を保障するためにメディカルコントロール(以下MC)体制を構築する事」がその前提条件として具体的に示された。				

④前年評価と改善点	目的(何のために行うか、具体的に)					
	救急救命士等が行う医行為(除細動、器具による気道確保、静脈路確保、薬剤投与)及び応急処置を医学的見地から保障する。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	所沢市・入間市・狭山市・埼玉県南西部消防本部に所属する救急救命士(新年度救急救命士国家試験合格者を含む)			MC協議会が企画した研修への参加人員		

⑤経費	対象数	単位	平成 18 年度	117	人	平成 19 年度	130	人
	利用数	単位	平成 18 年度	115	人	平成 19 年度	124	人

⑥指	事業の具体的な内容及び実施方法	①協議会の開催:所沢市・入間市・狭山市・埼玉県南西部消防本部管内の医療機関の医師、関係機関の責任者及び消防機関の救急監督者が協議会をつくり、年2~3回会議を開催し、MCとしての見地から研修会等を企画する。 ②MC協議会主催による救急救命士等の再教育に係る研修会等を実施する。				
	④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >> 総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) <input type="checkbox"/> 終了 => ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 ) 予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 平成19年度中に改善した点 特になし。				
	⑦一次評価	平成21年度における事業の方向性 総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了 予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 評価理由 救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を医学的見地から保障するために、各種研修会を継続的、計画的に実施する必要がある。また、関連事業として事後事例研究会実施事業は、本来メディカルコントロール協議会に対応すべき救急救命士等の再教育や救急活動の事後検証に係るものであり本事業に統合するのが妥当である。当協議会運営事業は、関連事業との統合、救急救命士有資格者の増加などにより研修会規模も拡大傾向となる。研修会の開催とその内容を見直しして効率化を図ったとしても、増額はやむを得ない。				

⑧二次評価	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	<< 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) <input type="checkbox"/> 終了 => ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点	特になし。				
	⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性 総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了 予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 評価理由 救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を医学的見地から保障するために、各種研修会を継続的、計画的に実施する必要がある。また、関連事業として事後事例研究会実施事業は、本来メディカルコントロール協議会に対応すべき救急救命士等の再教育や救急活動の事後検証に係るものであり本事業に統合するのが妥当である。当協議会運営事業は、関連事業との統合、救急救命士有資格者の増加などにより研修会規模も拡大傾向となる。研修会の開催とその内容を見直しして効率化を図ったとしても、増額はやむを得ない。				
	⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し 計画コード				
	⑪個別計画における方向性	基本目標 主要課題 施策の方向				
	⑫個別計画における方向性	⑬次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ... 無し 計画コード				
	⑭個別計画における方向性	基本目標 主要課題 施策の方向				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		233	279	279
	決算(見込み含む)		233	279	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)(人)	(人)(人)	(人)(人)	
	正規職員人件費	0.80 人	7,360	0.80 人	7,515
	公費費				
	事業費合計		7,593	7,794	
	財源内訳	一般財源	7,593	7,794	279
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		22.5	23.0	
	利用者一単位あたり(単位:円)		66,026.1	62,856.5	

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	協議会の開催回数	協議会会議の開催回数	回	3	2	3	2
		救急救命士の再教育に係る研修会の回数	協議会主催の救急救命士の再教育に係る研修会を実施した数	回	6	6	12	12
成果分析	救急救命士の再教育に係る研修会の参加人数	研修会に参加した救急救命士の延べ人数	人	目標値 117 実績 115	130 124	218	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2   1	
			%	達成率 98.3	95.4			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		埼玉県南西部第一地域MC協議会
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必須がない		受益者負担の有無		
			見直しの必要性	
			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑧二次評価	明らかなった課題	①平成16年7月より運用開始された気管挿管認定救命士の再教育について、各地域MC協議会で企画実行すること(県MC協議会決定事項)となった。②懸案であった地域MC協議会としての外傷プロトコル研修会(JPTEC)について、医師の協力が得られることとなり、これを開催することとした。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	①プロトコル研修会 ②気管挿管認定救命士の再教育研修 ③外傷プロトコル(JPTEC)研修会	①プロトコルを理解し実行できるようにする。 ②気管挿管の最新知見を知り、技術を維持する。 ③外傷プロトコルを理解し実行できるようにする。	①11月まで ②6月まで ③3月まで

⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了 予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を医学的見地から保障するために、各種研修会を継続的、計画的に実施する必要がある。また、関連事業として事後事例研究会実施事業は、本来メディカルコントロール協議会に対応すべき救急救命士等の再教育や救急活動の事後検証に係るものであり本事業に統合するのが妥当である。当協議会運営事業は、関連事業との統合、救急救命士有資格者の増加などにより研修会規模も拡大傾向となる。研修会の開催とその内容を見直しして効率化を図ったとしても、増額はやむを得ない。				
	評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	救急課長 荒幡憲作		

⑩環境基本計画	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了 予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を医学的見地から保障するために、各種研修会を継続的、計画的に実施する必要がある。また、関連事業として事後事例研究会実施事業は、本来メディカルコントロール協議会に対応すべき救急救命士等の再教育や救急活動の事後検証に係るものであり本事業に統合するのが妥当である。当協議会運営事業は、関連事業との統合、救急救命士有資格者の増加などにより研修会規模も拡大傾向となる。研修会の開催とその内容を見直しして効率化を図ったとしても、増額はやむを得ない。				
	評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	救急課長 荒幡憲作		

⑪個別計画における方向性	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し 計画コード				
	施策の体系	優先度 <input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
	⑫次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し 計画コード				